

2020 年度（令和 2 年度）
事業計画書



公益財団法人キープ協会

目次

2020年度 事業計画の方針・重点項目	3
.....	
公益Ⅰ. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業	4
1. 環境教育	
2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」 指定管理業務	
3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務	
4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託	
5. 環境研究所	
6. 地域における環境教育事業	
公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業	6
1. 生産農場として	
2. 教育農場として	
3. 実験農場として	
公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様化コミュニティに対して体験・研修・合宿を 提供する事業	7
1. 清泉寮	
2. 自然学校・キャンプ場	
3. ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業	9
1. 国際交流事業	
2. 地域連携事業	
公益Ⅴ. 幼児の育成と子育てに関する事業(清里聖ヨハネ保育園)	11
1. 保育の質の向上	
2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続	
3. 自然のリズムを大切にした食事の推進	
4. 他部署(自然学校及び環境教育事業部)との連携	
5. 園舎内及び周辺環境整備	
6. 視察・研修の受け入れ	
7. 保護者や地域の方々との協働	
8. 卒園児のバックアップ	

収益Ⅰ. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等	12
1. 2020年度重点業務	
2. 通常業務	
収益Ⅱ. 宿泊設備を使ったホテル事業	13
1. 清泉寮	

本部（管理部門）	14
1. 総務	
2. 経理	
3. 施設	
4. 企画部	
5. 団体営業	

2020 年度 事業計画の方針・重点項目

公益事業に係る中長期計画に基づき、2020 年度事業計画を検討・実施します。

■公益事業アクションプラン

1. 教育機能の強化：

キープ協会全体を学校と捉えて、世代や立場を超えた人々のための学びの場を創出します。

2. 農場の強化：(一番美しい牧場プロジェクト)

景観やお客様に配慮した設備・案内看板類を充実させます。

3. 環境保全型運営：

キープ協会全体の廃棄物量を削減します。

【収益事業重点項目】

公益財団法人としての活動を支える収益体制を確立

1. お客様を迎える体制整備：

清泉寮ジャージーハットの建替え等、より多くのお客様を受け入れるために施設整備と利便性の向上に取り組みます。

2. 収益力強化：

各事業部の営業力を強化し、効率的な事業運営を目指します。

3. 人材育成強化：

社宅を整備すると共に職員教育・研修や人事制度の見直し、職員が働きやすい職場環境作りに取り組みます。

公益 I. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業

1. 環境教育

環境教育研究とヤマネの総合的な研究蓄積を基盤に、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業および環境保全事業を、清里・那須および国内外で展開し、持続可能な社会実現に寄与します。

(1) キープ・フォレスターズ・スクール

① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

ESD・総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

② 2020 年度の重点目標

1. 新規ニーズの開拓
2. 実践の見える化
3. リスクマネジメントの強化と徹底

③ 主催事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、人材育成事業、CSR 事業、講演、執筆等

⑤ 指導教育

職員教育、研修生・インターン生の受入れ

(2) キープやまねミュージアム

① やまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究への協力・情報の蓄積、ヤマネ研究者とのネットワーク構築、森林生物多様性保全の提案への協力、環境教育・環境保全策の普及啓発

② 2020 年度の重点目標

これまでの研究成果の教育への展開、プログラム化と地域への普及。研究を活かした教育事業の館内展示等で発信と情報蓄積。論文発表・学会発表・シンポジウムへの協力

③ 2020 年度の事業計画

国内外での総合的なヤマネ研究・保護および生物多様性研究の推進への協力。アニマルパスウェイの国内外の開発と普及への協力、国内外の研究者との連携・情報交換・共同研究、研究成果を活かした展示や環境教育プログラムの開発・実施、「やまねミュージアム」の管理運営、ヤマネ関連グッズの開発・販売、老朽化する建物の維持・管理・補修、ボランティアとの連携

2. 「～ハヶ岳環境と文化のむら～山梨県立ハヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

第4期2年目の指定管理業務を担当します。山梨県及びハヶ岳地域の環境教育センターとしての役割をより発展させることを目指し、事業の企画運営や施設の管理を行います。

(1) 山梨県立ハヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献します。

(2) 事業内容

基本方針ならびに運営目標等に基づいた事業（館内展示、自然体験プログラム、企画事業等）の実施、施設及び設備の維持管理、自然ふれあい施設としての機能（自然調査、教材開

発)、周辺の文化施設や地域にあるネットワークとの連携、ボランティアとの協働、利用促進業務、自主事業(環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等)の実施

3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務

「那須平成の森(フィールドセンター)」の運営管理を請負って10年目(1期3年として4期目の初年度)の業務を担当します。

(1) 2020年度の重点目標

第4期の主たる取り組みとして、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議(議長:内閣総理大臣)」で決定された「国立公園満喫プロジェクト」に係る事業の最終年となる中で、那須平成の森を「日本の自然ふれあい施設における人材育成事業の拠点とする」事業を本格的に実施し、那須平成の森事業の柱のひとつとして明確にしていきます。また2023年度からの第5期に向けて、恒久的で持続可能な那須平成の森運営管理の方策を環境省と協力して確立していきます。

この他、環境省、栃木県、JR、観光協会等、地域の関係者と協力して那須への誘客に積極的に取り組みます。

(2) 事業内容

(1)の人材育成事業の他、主催事業である「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業(学校団体等のプログラム)を推進する他、提案書に記した8つの展示、10に自然教育プログラムについて順次実施していきます。また、国立公園満喫プロジェクト関連の各種業務の実施、国立那須甲子青少年自然の家(福島県)との連携を深めると共に、公園の環境維持管理等、那須平成の森の運営と管理を円滑に行っていきます。

4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

6年度目(1期5年2期目の初年度)の地球温暖化防止活動推進センター業務を行います。

- (1) 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動
- (2) 地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援
- (3) 日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言
- (4) 日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析への協力
- (5) 定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

- (1) 環境保全研究(清泉寮やまねミュージアムを中心として)
- (2) 環境教育研究

植林・森林保全作業を通じた環境教育の研究および実践、環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

6. 地域における環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

(1) 事業内容

地域の教育機関・福祉機関等への協力、やまなし環境教育ミーティングの開催、森の楽童など地域住民への環境教育、地域内各種ネットワークへの参画
北杜市内小学生のやまねミュージアム入館無料対応

公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業

1. 生産農場として

- (1) 標高 1,250m～1,400m の高冷地、傾斜地で 2018 年度に引き続き飼育総頭数 100～110(内訳：成牛 60、育成牛 13、仔牛 11、雄仔牛 19)搾乳頭数は、年間平均 48 頭とし、総生産乳量は 175,000 kg(タカハシ乳業への出荷乳量 167,000 kg、哺乳量 8,000 kg)といたします。
引き続き安心、安全にこだわった、有機 JAS 牛乳の生産に努めます。
- (2) 雄仔牛を肥育して牛肉の生産を行います。
- (3) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場の生産性向上(採草地 45ha、放牧地 25ha)に努めます。
- (4) 畑作圃場を使用して農産物の生産に努めます。

2. 教育農場として

- (1) 後継者育成及び学習の場の提供として、短期及び長期実習生、大学等の学 生・研修生の受け入れを行います。
- (2) 他部署と連携して農業体験プログラム等の教育的活動の場を提供いたします。

3. 実験農場として

- (1) 牧草地に堆肥等の散布を行い、循環型酪農に努めます。
- (2) 山梨県畜産課・畜産総合センター・家畜共済組合の協力のもとで家畜衛生管理をします。
また、肥育牛の肉の販売促進・商品開発等を合同で実施いたします。
- (3) 継続事業として粗飼料対策事業助成金を取得いたします。
- (4) 引き続き、高冷地生産(各種野菜、イチゴ、サツマイモ、しいたけ栽培等)に取り組みます。
- (5) 「食育」の一環として清泉寮ジャージー牛乳及び関連乳製品の試験・普及活動を行います。

公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を提供する事業

1. 清泉寮

地域のランドマークとして、また公益財団法人キープ協会の中核施設としての使命と役割を果たすと共に、研修宿泊施設として、教育旅行や企業・団体研修の受け入れと求められるプログラムの提供を行います。

- (1) 研修利用に際して求められる施設・設備・食事・プログラム・スタッフ等、受け入れ体制を整え、学校、企業、教会を始め、より多くの団体のニーズへの対応と研修効果の向上を図ります。
- (2) 豊かな自然環境を生かした自然体験プログラムやキープ牧場の農業体験プログラム等の多彩な教育的プログラムの提供を重視し、青少年を中心とする利用者の声に耳を傾けながらさらなる改善を目指します。
- (3) 地産地消をベースにした安心安全な手作り食事の提供、食育プログラムの実施、地域生産者の生産物や情報の発信を通して、食育活動の推進や地域振興への貢献を図ります。
- (4) 季節感と地域への貢献を重視した宿泊パックの設定や、コンサートやイベントの開催、スポーツイベントへの開催協力などの社会貢献事業を継続して行います。
- (5) 行政機関の協力や指導を仰ぎながら、本部、施設部と連携した施設の修繕計画を進めるとともに、消費エネルギーの削減に積極的に取り組むことによって、安全かつ適切な事業の継続を図ります

2. 自然学校・キャンプ場

団体・グループ利用に特化した研修宿泊施設として、青少年育成、健康管理、幼老の向上等を目的とした実験的な取り組みを継続していきます。

- (1) 通年営業の自然学校は教育の場として、夏季〔7月～9月〕営業のキャンプ場は、環境教育や国際的な活動の実践の場として、各種団体の受け入れを行います。
- (2) 幼児・保育科・子ども学科等の大学・専修学校、保育園、幼稚園、こども園の職員や園児、その保護者等を対象とした幼保教育関係団体の受入とプログラム提供に注力します。
- (3) 地元農家と連携した、安全で健康的な食材の提供、開発を行うと共に、郷土料理の継承体験や手作り体験の企画・開催・栄養士・調理師研修生の受入、食育を推進します。
- (4) 「森のようちえん」「やまもりキャンプ」「森のかぞくキャンプ」等の主力企画をはじめ、食と農、自然をテーマにした主催キャンプの実施を積極的に増やすと共に、医療期間、養護施設、授産施設等と国際と地域をつなぐ、将来を展望した上での新しいジャンルのプログラム開発、人材育成を進めます。
- (5) 社会貢献として、毎月一回地元の子ども食堂に食材提供、清里イングリッシュキャンプを総務部と連携、地元の甲陵高校のイングリッシュキャンプを総務部と連携、よっちゃんばれキャンプを総務部と連携、子どもの園を清里アンデレ教会と連携、森の学童を清里ヨハネ保育園&環境事業部と連携、以上支援活動を致します。

3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュ博士の業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、キープ協会の広報・教育機能の一端も担っていきます。

- (1) 博物館として、ポール・ラッシュ博士の業績や歴史を紹介する通常の開館業務のほか、博士に関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続を始め、収蔵資料や美術品の保存・管理業務、歴史的建造物としてポール・ラッシュ邸の修繕・保護・活用に努めます。
- (2) 時期ごとに変化のある企画展を年数回行うと共に、周年記念事業と連携した特別企画展を催します。
- (3) 日本アメリカンフットボール協会から寄託されている日本アメリカンフットボールの殿堂において、今年度も来館者にアメリカンフットボールに触れる機会の提供、競技の普及活動を行ないます。
- (4) 博物館として、県・市や対外的な機関との連携や、メディアや SNS を駆使した広報活動を積極的に展開します。
- (5) 文化庁の研修を修了したミュージアムエデュケーターが在籍する施設として、博物館での教育普及事業を進めます。
- (6) 前年度に引き続き、公益Ⅳ 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業のうち「1. 国際交流事業」(1) (2) (3) (5) について担当部署と協働します。
- (7) 地域の博物館・美術館等が参加する八ヶ岳ミュージアム協議会の創設館として、地域ミュージアムとの連携を続けます。
- (8) 地域へ良質な文化を届けることを目的に、他部署と連携をし、音楽会などを開催します。
- (9) 立教大学でボランティア活動を行う学生を対象に、ポール・ラッシュ博士記念奨学金として年額 70 万円を給付します。

公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業

1. 国際交流事業

「異なるものをつなぐ」「青年への希望」を軸に、国際交流を通じた青少年育成および地域貢献を目指します。地域の学校や国内外の大学・NGO等の多様なコミュニティと連携し、事業内容の充実と発展に取り組みます。

(1) ケンタッキー交流事業【北杜市受託事業】

北杜市とケンタッキー州との姉妹地域間交流事業の実施に協力し、小中学生から大人までの幅広い年齢層の友好親善と、ポール・ラッシュの理念の普及と継承を図ります。

- ① 北杜市代表団訪米事業(5月)
- ② 中学生ホームステイ交流事業(7～8月)
- ③ マディソン郡代表団受入事業(10月)
- ④ 日米文化交流(北杜市交流員派遣5月、マディソン郡交流員受入10月)
- ⑤ 子ども絵画交流(通年)

(2) 北杜市中中学生海外交流事業【北杜市受託事業】

北杜市による中学生のカナダ派遣・交流事業の実施に協力します。(8月)

(3) 国内外のインターン生の受入れ(5～12月)

日本・アメリカ・フランス・フィリピン等から青年を受け入れ、青年の学びと実践の機会を提供し、ポール・ラッシュの理念の継承を図ります。

(4) 地域への国際理解プログラムの実施(通年)

地域の青少年育成と地域社会への貢献を図るため、環境教育、国際理解・英語教育等の分野で事業協力を行います。

- ① 地域での主催英語教育プログラムの提供
国際交流をキーワードに、海外インターン生と共に、地域の子どもから大人へ独自の英語教育プログラムの提供
- ② 北杜市立甲陵高校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業への協力
SSHは先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成を目的とした文部科学省主管の事業。その指定校である甲陵高校の設定する課題「グローバルに活躍する人材の育成」「社会との共創」に対し、英語でのプログラムを提供し、青年の育成および地域への貢献。また、「公益 I。」で行う環境教育事業と連携し、さらなる教育効果を向上

(5) 北フィリピン青年育成事業への協力(通年)

インターン生の受入、現地の青年事業への協力等を行います。

(6) 国際交流団体・公的機関との連携(通年)

在日米国大使館、山梨県国際交流協会、国際交流北杜地域連絡協議会等の諸団体との連携を図ります。

2. 地域連携事業

(1) ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2020の開催

ポール・ラッシュ精神の顕彰と草の根国際交流の実践を広くアピールし、八ヶ岳に暮らす人々と八ヶ岳を愛する人々の結びつきを強めるため、北杜市をはじめ地域団体との協力のもと、ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～を開催します。

(2) 地域連携業務

- ① フードバンク山梨や北杜市社会福祉協議会等と連携し、貧困な環境に置かれた子供たちの支援
- ② ハヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等の地元各種団体・組織と連携し、歴史・文化・観光等の側面から地域連携を推進

公益 V. 幼児の育成と子育てに関する事業（清里聖ヨハネ保育園）

キリスト教の精神に基づき「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、「森の保育園」のコンセプトのもと、地域資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動に取り組みます。また、地域に開かれたコミュニティセンターとして、地域における教育や子育てに関わる事業に積極的に取り組み、地域社会の持続可能な発展に貢献します。

1. 保育の質の向上

今年度も引き続き、「キリスト教保育」「森の保育」「野外活動におけるリスクマネジメント」「各部門における理解」の4点について、質の向上を目指します。チーム力向上のため、スタッフ全員参加の園内研修を実施し、また個々のスキルアップのため外部研修への参加を進めます。

2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

従来の保育方針を継続し、森の保育活動の実践を充実させ、それを基にした森の保育のカリキュラム作りに取り組みます。また、異年齢児グループと年齢別グループの、それぞれの良さを組み合わせ合わせた活動や生活を展開します。

3. 自然のリズムを大切にしたい食事の推進

自然のリズムに配慮した生産活動への理解や、旬の食材利用、生産者の方々とのつながりを大切にしたい食事や食育に取り組みます。また、引き続き、アレルギー対応食の提供や、「食」の体験活動にも積極的に取り組みます。

4. 園舎内及び周辺環境整備

保育園での暮らしをより充実させるため、新園舎内及び周辺環境整備を長期的ビジョンの下計画的に進めます。特に、地域在住のランドスケープデザイナーと連携し、「森庭」の整備を重点的に進めます。

5. 視察・研修の受け入れ

自然学校や清泉寮と連携して、各種保育団体や学校等の視察・研修の受け入れに取り組みます。

6. 他部署(自然学校及び環境教育事業部)との連携

「森の楽童」において、環境教育事業部と協働のもと保護者への協力を行います。また、自然学校とは、フィールドの使用や整備での協働にも取り組みます。

7. 保護者や地域の方々との協働

「森の楽童」「大屋根マルシェ」「文庫活動」等地域の子育て支援、幼児教育の向上を目的とした活動に対して園舎を提供し、保護者や地域の方々と共に創り実践を重ねます。

8. 卒園児のバックアップ

次世代の青少年育成を支援するため、保護者主催の「卒園児キャンプ」への協力を積極的に行います。

収益 I. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等（製販事業部）

公益財団法人キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、自家製品や地域特産品の販売等を中心とした様々な事業により、収益の確保を図ります。

1. 2020 年度重点業務

(1) 清泉寮ジャージーハット運営

- ① 清泉寮ジャージーハットではソフトクリーム販売・物品販売・カフェ営業、パン工房などの機能強化。また、お客様用のトイレや休憩スペースなどの利便性を高め、清泉寮への立ち寄りのお客様の主要拠点として、一体化したサービスを提供する施設運営の確立

(2) キープ内容客単価の向上を図る、お客様の滞在時間延長化

- ① 清泉寮ジャージーハットを中心とした運営
- ② 店舗間連携による複数店舗の利用促進
- ③ 居心地の良い環境・空間の整備
- ④ 購買意欲を増加させる運営および接客サービス
- ⑤ 子どもを対象とした運営および設備の充実

(3) お客様から共感を得るための職員教育

- ① キープの一員としての意識向上
- ② 接客・サービス研修
- ③ あらゆる商品知識の習得

2. 通常業務

- (1) 店舗運営（清泉寮ジャージーハット・清泉寮ギフトショップ・清泉寮セレクトショップ・清泉寮ファームショップ、清泉寮新館売店）
- (2) 通信販売およびインターネット販売
- (3) 商品開発
- (4) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売
- (5) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (6) 「人と地球の健康」をキーワードとした観光地での安心出来る食の提供
- (7) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (8) ホームページを利用した情報発信
- (9) 店舗周辺的环境美化およびガーデン管理
- (10) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (11) 業務の効率化によるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

収益Ⅱ．宿泊設備を使ったホテル事業

1．清泉寮

研修宿泊施設としての役割を果たすと共に、キープ協会が行う公益事業の経営的な基盤を支えるために、一般のお客様の宿泊や食事、パーティーやブライダルなどの受け入れ等の事業を進め、収益の確保を図ります。

- (1) 宿泊予約サイトの活用や、宿泊・食事プランの見直しと検討を進め、客室稼働・喫食数の増加
- (2) 地産地消を重視した食事や、抜群の景観と豊かな自然環境といった、他施設にはない施設の特徴を生かした集客
- (3) 清泉寮利用者の拡大や、インターネットやSNSを生かした効果的な情報発信を継続することで、清泉寮はもとより、キープ協会の他施設や商品・サービスの利用の促進やキープ協会の理念の周知と、それによる支援者の獲得
- (4) 立寄り利用者向けの本館レストランを通年営業するとともに、地域の団体や組織を対象とした各種パーティーや、ブライダルの積極的受入

本部(管理部門)

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画・団体営業の各部を置きます。

1. 総務

- (1) 法人の運営
- (2) 関係団体との窓口
- (3) 職員の管理、福利厚生等

2. 経理

- (1) 法人の財務管理

3. 施設

- (1) 法人の施設の維持、管理、修繕
- (2) 施設更新に関する意見具申

4. 企画部

キープ協会全体の情報を収集・管理し、プレスリリースや広報媒体による発信を行う。

- (1) 商品・景色・プログラム等の画像・動画撮影による素材収集
- (2) 画像・動画ライブラリー整備
- (3) 清泉寮・キープ協会のWEB管理
- (4) SNSを活用した情報発信 (Facebook、Instagram、Twitter の連携)
- (5) 季節ごとの魅力を配信する画像・動画作成
- (6) プレスリリース配信管理
- (7) メールマガジン配信管理
- (8) 宿泊プラン・イベント等の営業に係る進捗管理

5. 団体営業

キープ協会を利用する学校・団体等のお客様の満足度を高め、より良いサービスを提供するため宿泊・立ち寄り等、各部ごとに管理している団体の情報を一元化し、体制を整え、より効果のある営業に取り組む。

- (1) 新規営業対象先、エージェント、既存利用団体の情報を集約し、新規・リピーター利用を促す営業
- (2) 清泉寮・自然学校の宿泊団体獲得
- (3) レストラン立ち寄りランチ団体獲得
- (4) 売店・ソフトクリーム利用の立ち寄りバスツアー獲得
- (5) レストラン各種パーティー (忘年会・新年会・謝恩会・ブライダル) 獲得